

本庄児玉病院

さくら

広報誌第17号



患者さま手作り作品「7月カレンダー」

contents

- 精神科コラム・・・・・・・・・・ P 1、P 2
- 院内研修・・・・・・・・・・ P 3
- 院内行事・研修・・・・・・・・・・ P 4
- 作業療法室だより・・・・・・・・・・ P 5
- 外来患者延数・入院患者数・・・・・・・・・・ P 6
- 栄養課「選択メニュー・お誕生日会」・・・・・・・・ P 6

〒367-0212

埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel.0495-73-1611

Fax.0495-73-1616

## 「生命の現象」

いくら憲法で「言論の自由」が保障されていても、実際には社会的立場上、もしくはバッシング等をおそれ、なかなか言いたいことも言えない世の中ではあるが、「ここ」では自由に論じたいことを論じられる場との前提で、多様な異論や反論も承知の上で、非科学的なことを含むいつも以上の私見を論じたい。

もし、神が物理学者であったなら、この世界に生命現象が生じることを予測できなかったら。世界のあらゆる物理学的現象において、生命現象というのは極めて特異的である。

生命現象の本質についての科学的説明は、最終的には量子論に往きつくのではないかと筆者は考えており、そうすれば物理学的現象として説明で

きる可能性もあろうが、それでも、最終的に、人類の知能でも、人工知能（AI）でも、人類が存在している間に、その全てを説明することは不可能ではないかと考えている。生命現象は人知を超えている。

ただ、エントロピーの法則などを考える限り、生命現象が儂いことは確かであり、それを免れるために遺伝子による次世代への生命現象のリレーがある。我々は約38億年前といわれるたった一度の「発火」による「命の炎」を受け継ぎ、次世代へ繋げようとしている。

エントロピーとは熱力学上の概念であるが、簡単に言えば、形あるものはやがて崩れ均質的な方向へ向かうということである。生命現象とは、エントロピーの増大という大河の流れ

のような現象に刃向かう一部の逆流、もしくは淀みのような現象である。よって、現生人類も、その子孫も、その後進的に誕生してくるであろう後世の人類種も、さらには、あらゆる生物種も、数十億年以上の時間を考えれば、「いつか」は必ず滅びる運命にある。そもそも、いつか誰もが100%死ぬという事実だけでも、エントロピーというどうにも刃向かえない圧倒的な現象が理解できるのではないか。たとえ寿命遺伝子进行操作できたとしても、長い時間経過による遺伝子の劣化を防ぐことは出来ない。

この物理学的な宇宙において、生命現象が生じる限りなくゼロに近い確率の低さを考えると、それにどれだけ無限に近い星の数と年月とをかけて

院長 高野 寛

## 精神科コラム

も、やはり限りなくゼロに近いのではないか。少なくとも、「いま」「ここ」に、「自己」が存在するということは、果てしなく奇跡的な現象であることは確かである。そして人生の1年であっても、100年であっても、宇宙の時間からみれば一瞬の煌きであるが、さらには宇宙に人類や生命現象が存在している時間というのも一瞬の煌きかもしれない。だからこそ、かけがえのない「いま」であり、「ここ」であり、「自己」である。

「自我」という現象は、常に社会環境等の影響も受けるが、生物学的現象に拠っていることは間違いない。その「自我」の宿る自己の誕生過程において、精子間競争に勝った一つの精子を卵子が受精し、母体内での発生段階を経て、産道から生まれてくるまでの間だけでも、奇跡の連続である。そして「個」を「個」として考える限り、その「個」の「生」は、一度きりである。それは、人類であっても、他の生物種であっても、ペットや家畜であっても同様である。

筆者は仏教徒やヒンズー教徒ではないが、「輪廻」という概念が存在することは知っている。「輪廻」の考え

方も多様であり、最終的には「輪廻」を信じる一人一人の考え方も多様であると思うが、ここでその中の一つの私見を述べたい。

各魂が各個体に宿るものと考えるとき、「別の個体」に生まれ変われば、「別の魂」である。しかし、そもそも魂が個々に分断されたものではないとすれば、全人類、全生物種的な魂が存在するかもしれない。

仮にそれが時間軸を超えたものであれば、生物間のヒエラルキーなどない全生物の「生」を生きることへもつながるかもしれない。この地球上に「誕生」した全ての生物の一生をひたすら生きたとしても、「永遠」の時間を考えれば、やはり一瞬の現象であるが、その途方もない時間の中で、いつか誰かの「生」を歩む。来世、もしくは幾万もの「生」を生きた後に、目の前の人に生まれ変わるかもしれない。「筆者」の来世は、「あなた」かもしれないし、「あなた」の来世は、「筆者」かもしれない。そう考えれば、「相手」に対して意図的に嫌な事をしたり、不幸を願うことなどできるはずがない。「誰」もが、「いつかの自分」かもしれないのだから。

大分非科学的なことを書いたが、少なくとも科学的に一つ言えることは、各個体は遺伝子の働きにより、元々自然、地球上、さらに言えば宇宙に存在した炭素、水素、酸素、窒素、リン、硫黄等の元素から形成され、生きている間は絶えず他の生物を食して、体を組成するそれらの元素を入れ替えながら、エントロピー増大則に逆らって生命現象を維持し、死後、再びエントロピー増大則に倣って、それらの元素に分解されていく。しかし、それらの元素は生前から「在った」し、死後も「在り」続けることには変わりない。自然（宇宙）から来て、自然（宇宙）へ還るのである。かたちを変えて。

## 2016 年度院内研究発表会

2017年3月30日(木) 2016年度院内研究発表会を開催しました。当院では、よりよい看護の提供ができるよう、看護研究に取り組んでいます。当日は、44名(うち他病院17名)の職員が参加しました。2階病棟、3階病棟、外来と発表を行いました。発表者、参加者の声を紹介します。

### 皮膚乾燥に対するグリセリンを用いた効果について

2階病棟



グリセリンを用いて、下肢の皮膚の乾燥が改善するかを明らかにする。



当院のほとんどの患者さまは、乾燥による掻痒感、疼痛などの症状があってもそれを伝えることができない。その為、日々の関わりの中で、私達、看護師が気づき、ケアし、苦痛の軽減を図らなければならないと改めて感じた。

#### —発表後の感想—

今回グリセリンを使用した老人の皮膚保湿について発表しました。研究内容について質問やご指導頂き、もう少し患者さまの事例数や濃度など細かく研究できたら良かったと思いました。今回発表の機会を頂き感謝いたします。ありがとうございました。

#### —参加者の声—

- ・皮膚乾燥のグリセリンのものはためしに行ってみようと思います。
- ・私は今回グリセリン使用に付いて気になりました。帰ってからスタッフに話し使用できるか話してみたいです。

### せん妄のある患者さまの看護～その人に合ったケアを考える～

3階病棟



患者さまの言動や感情を考えた看護や、認知症患者さまへの看護の在り方などを検討した。



認知症高齢者に対する看護は全人的に理解する事が基本である。高齢者(患者さま)の背景を詳細に把握した上で、認知症となっても自分の機能を最大限に発揮しながら安心して生活できるように環境の調整を個別性を重視しながら行っていく必要がある。さまざまな老年期疾患・精神健康上のニーズに対応する事が求められ、看護者は患者さまの代弁者(アドボケート)である事を忘れてはならない。

#### —発表後の感想—

抄録原稿を書く為、様々な資料を読んだり、パワーポイントの作成に、毎日どんな内容にしたら良いか、どんな文章が良いか悩みましたが、病棟スタッフの方に助けてもらい無事に終わる事が出来ました。ありがとうございました。

#### —参加者の声—

3階病棟の発表で、口頭でいいことをいっぱい言っていたので、紙面に残された方がよかったかと思いました。

### 寄り添うことでつなげる支援～認知症の人と家族～

外来



在宅で過ごす認知症患者さまとその家族がおかれている現状の問題点を把握し必要な援助を行う



- ・患者さま、家族の気持ちや年齢、家庭の状況を考慮しながら、分かりやすい方法での説明、確認が必要である。
- ・医療者は、在宅で認知症の方を支えている家族の苦勞の理解に努め、認知症の方が一日でも長く、元気で自宅で過ごせるよう、患者さまと家族の気持ちに寄り添ったサポートを継続していくことが今後も必要となる。
- ・患者さまの症状や、取り巻く環境の変化に対応していくために、社会資源の活用について早期に情報提供しておくことが重要である。

#### —発表後の感想—

今回研究するにあたり、認知症や家族ケア、地域連携などあらためて学習することができました。いただいたご指導やご意見を今後の研究に生かしていきたいです。また、これからの学びを日々のケアにつなげていけるよう努力していきたいです。

#### —参加者の声—

家族の関わりが非常に大切であり、介護認定や通院など高齢者だけで行うのは限界があると思います。もう少し地域のサポートや市役所の方で手助けがあれば、受け入れられるのではないかと強く感じました。本日はお疲れさまでした。

# お花見

今年も、児玉千本桜へお花見散歩に行きました！  
 天気にもまれ、春の暖かい風、満開の桜に風情を感じながら、楽しい一時を過ごしました。



# 5月24日慰問演奏会

早稲田大学本庄高等学院ブラスバンド部のみなさまが慰問演奏に来てくださいました。素晴らしい演奏でした。ありがとうございました。



馴染みのある曲が流れると、手拍子したり、口ずさんだり、患者さまともたのまれていました。最後の曲が紹介されると「もう？」と残念がるも、生徒さんに「頑張って」と声を掛けていらっしゃいました。

# 5月18日ベシア本庄早稲田へお買い物バスツアー

20名の患者さまが参加されました。楽しい買い物ツアーとなりました。



バスに乗って出発です！



花観賞やペットショップで癒されました。



何にしようかな！  
おやつのお買い物♪

# 6月5日看護研究の作り方



# 6月19日認知症高齢者に対する理解と対応



# 6月21日防災訓練





## 作業療法室だより

### 認知症患者様の介護者への支援について ③

#### 「介護者の QOL や健康も大切に」

例えば、行動・心理症状が出始め、日中独りにしておけなくなったときに、介護者となるべき人が仕事をもっていたり社会活動をしていたら、介護のためにそうしたことを辞める必要があるでしょうか。被介護者の QOL が問われるのなら、介護者の QOL も問われなければなりません。すべて自分で背負い込まないで、他の家族や親戚とも相談し、できることは負担してもらったり、介護サービスを上手に活用して、自分自身の趣味や社会活動を継続するなど QOL を求めて欲しいと思います。

また、介護者が心身共に健康でいることが、よい介護の基本です。デイサービスやショートステイなどを利用して介護者の息抜きや受診時間を作ることも必要です（レスパイトケア）。また、介護者の 3 割は、介護者自身が負担やストレスに対する治療を受けたいと感じているという調査もあります。

ストレスの感じ方は、受け取る側の心の状態で大きく変わります。客観的な介護負担の程度は同じでも、それを大きなストレスと感じる家族介護者と、あまりストレスと感じない、場合によっては介護を生きがいや喜びと感じる介護者もいます。「介護は大変だ」とネガティブな面ばかりに目を向けて不幸だと感じるのではなく、辛い介護の毎日でも、その中に楽しい出来事や心が温まるひとときがある。そこに目を向けて幸せだと感じる心のもち方で、主観的介護負担感は著しく軽減します。介護が大変で、これから先、いくらお金が必要になるかわからないから節約、節約という悲観的な人よりも、今日は介護が大変だったからご馳走を食べて笑顔になろうという楽観的な人のほうが、介護が長続きます。心のもちようは長年かかって形成されたものなので、なかなか変えられませんが、宗教的な心を持ち、どんなことにも感謝して生きられる人は、負担をも幸せに感じる事が可能です。

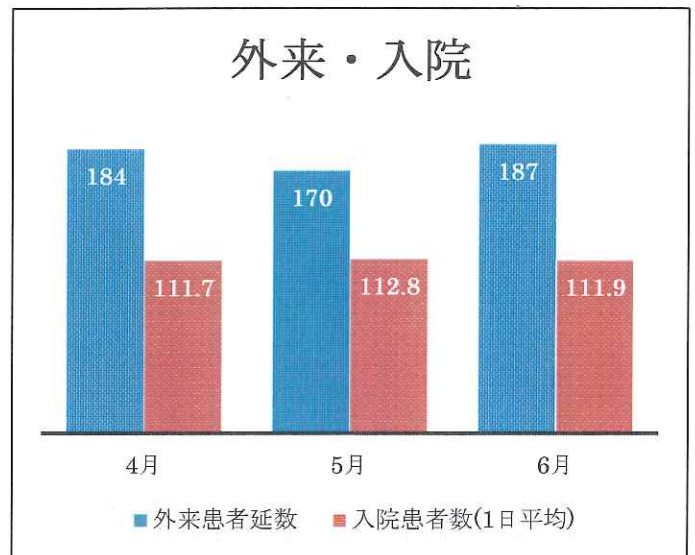
また、上記のように、介護されている認知症の人は介護者にお礼の気持ちを伝えることがまずありません。中には、他人に対して「自分が（介護者の）世話をしている」と、配偶者（介護者）のほうが認知症で世話が焼けるのだと、現実とは正反対のことを言う場合もあります。介護者の気持ちを理解し、労をねぎらうことが認知症に関わる専門職や別居の親戚に望まれます。「大変ですね」と周囲の人に共感してもらうだけで、介護者の主観的負担感は軽減します。

労労介護や認認介護が増えています。介護者も軽度の認知症で、服薬管理がうまくできていなかったり、変化に気づかず心不全などの身体合併症の発見や手当てが遅れるなどもあります。

日々の対応の中で、本人だけでなく介護者の健康状態や心理状態、認知機能もさりげなくチェックしておくことが大切です。



	月	火	水	木	金
午前	高野	高野	齋藤	新谷	新谷
午後	齋藤	高野	齋藤	新谷	新谷



## 栄養課

### 選択メニュー・お誕生日会



#### 栄養課での取り組み

当院では週に3日、昼食と夕食に選択メニューを実施しております。例えば肉料理と魚料理から、ご飯と麺類からなど患者さまご自身でお好きな方を選んでいただいております。

また月に1回のお誕生日会ではケーキとコーヒーまたは紅茶をご提供しており、6月はチョコ蒸しケーキでした。ケーキが食べづらい方へはプリンをご提供しました。

#### ◆肉料理と魚料理の一例◆



選択食 A タンドリーチキン



選択食 B 鮭のバジル焼き

#### ◆ご飯と麺類の一例◆



選択食 A 豚肉の細切り炒め



選択食 B ためきそば

#### ～お誕生日会～



チョコ蒸しケーキまたはプリン

## 理念

患者さまの権利と尊厳を尊重し、笑顔と愛の心で  
 全人医療へ奉仕します

## 基本方針

1. 私達は、地域に密着した精神科医療の提供と的確な認知症のケアを実践します。
2. 私達は、患者さまの意思と人権を尊重し、心の通った、愛の心で医療を提供します。
3. 私達は、患者さま並びにご家族の信頼を得、満足度の向上に努めます。
4. 常に医療技術の研鑽と知識の習得に努め、安全で良質な医療を提供します。
5. 私達は、理念達成のため、健全経営の維持向上に励みます。

## 患者さまの権利

当院では、患者さまと信頼関係で結ばれた「患者さま中心の医療」を行うことを目指しています。ここに「患者さまの権利と責任」を掲げ、これを尊重致します。

- ・安全で適切な医療を公平に受ける権利があります。
- ・人権とプライバシーに配慮される権利を有します。
- ・検査、治療、その他の医療行為に同意し、選択あるいは拒否することが出来ます。拒否した場合においても不利益を生ずることなく、同様な治療を受けることが出来ます。
- ・医療の情報を知り、セカンドオピニオンを受ける権利があります。
- ・精神保健福祉法等の法律に基づいた適切な手続きが保障される権利があります。
- ・患者さまは、以上のもと、治療上のルールを守り、医療を受ける権利があります。



### 一診療科目一

精神科 平日 AM 9:00~12:00  
 PM 2:00~ 5:00  
 TEL 0495-73-1611  
 FAX 0495-73-1616

### 一診療時間一

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・祭日  
 (土曜日午前)

入院随時 各種保険取扱い  
 完全予約制となっております。

## 編集後記

いよいよ暑い夏を迎えます。今年の夏も暑くなりそうですね。この時期注意しなければならないのは熱中症です。こまめな水分補給を心がけて楽しい夏を過ごしてくださいね！！



## 編集発行

2017年7月

医療法人(社団)明雄会 本庄児玉病院

広報誌グループ

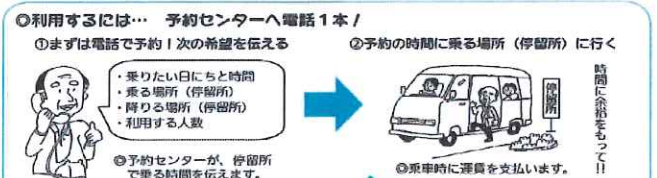
〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel. 0495-73-1611 fax. 0495-73-1616

## はにぼん号・もといすみ号のご利用案内

はにぼん号・もといすみ号とは…予約に合わせて停留所から停留所まで送迎する乗り合いバスです。本庄北・児玉山間では9人乗り、本庄南・児玉市街地では4人乗りの車両が運行しています。

◎はにぼん号(本庄北・本庄南・児玉市街地)の運行日時	
月～土曜日 (日曜・休日・12/29～1/3は運休)	午前8時～午後5時 <small>※最終乗車時間は午後5時</small>
◎もといすみ号(児玉山間)の運行日時	
月～土曜日 (日曜・休日・12/29～1/3は運休)	運行区域 児玉山間や児玉地域共通
	運行時間 午前8時～午後5時 <small>※通学用として、午前7時40分(いろは橋折返場)、午後6時10分(児玉中学校校)の運行をしています。席に余裕がある場合、予約のうえ一般の人も乗車できます。</small>



③降りる場所(停留所)に到着

思ったより簡単なんだね! みんなも、はにぼん号・もといすみ号に乗ってみてね!

予約センター  
 ☎0495-21-7797  
 営業時間 午前8時～午後5時  
 (日曜・休日・12/29～1/3は休み)

⚠ 注意

- ・予約状況により、希望に沿えない場合があります(先の予約が優先されます)
- ・降りる場所を利用するときは、行き予約と一緒に、予約することをオススメします。
- ・ほかのお客様も乗り合わせます。時間に余裕をもって、予約してください。

■予約できる日(予約センター休業日は除く)  
 利用日の前の週の月曜日から利用日当日

例: ある日の19日に利用したい場合は、下記のとおり、7日前～19日(日)の予約センター営業時間内に予約してください。

7日	8日	9日	10日	11日	12日	
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日

※キャンセルの場合は、必ず予約センターへ連絡してください。